

ネイティブアクリモニウム属アスコルビン酸オキシダーゼ

Cat. No. NATE-0864

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 酵素学において、L-アスコルビン酸オキシダーゼ(EC 1.10.3.3)は、次の化学反□を触媒す

る酵素です: 2L-アスコルビン酸 + $O2 \leftrightarrow 2$ デヒドロアスコルビン酸 + 2H2O。したがって、この酵素の二つの基質はL-アスコルビン酸とO2であり、二つの生成物はデヒドロアスコルビン酸とH2Oです。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特に酸素を受容体とし、ドナーとしてジフェノールおよび関連物質に作用するものです。この酵素はアスコルビン酸の代

謝に関与しています。1つの補因子、銅を使用します。

用途 この酵素は、血液、尿酸、TG、TC、クレアチニンなどの診断アッセイにおけるアスコルビン

酸の干渉を回避するのに役立ちます。

別名 アスコルベース; アスコルビン酸オキシダーゼ; アスコルビン酸オキシダーゼ; アスコルビンオ

キシダーゼ; アスコルビン酸脱水素酵素; L-アスコルビン酸オキシダーゼ; AAO; L-アスコルビン酸:O2 オキシリダクターゼ; AAオキシダーゼ; EC 1.10.3.3; L-アスコルビン酸オキシダーゼ

製品情報

由来 アクリモニウム属

外□ 淡い青色の非晶質粉末、凍結乾燥された

形態 フリーズドライパウダー

EC番号 EC 1.10.3.3

*CAS*登□番号 9029-44-1

分子量 80 kDa(gel filtration)

活性 > 200 U/mg

混入物 カタラーゼ **< 0.02%; ATP**アーゼ **< 0.001%**

等電点 4

pH安定性 6.0–10.0(30°C、24時間)

最適pH 4.0–4.5

熱安定性 50°C以下で安定(pH 7.0、10分)

ミカエリス定数 アスコルビン酸(pH 7.0) 1.0×10 -4 M アスコルビン酸(pH 4.0) 3.8×10 -4 M

安定化剤 BSA、マンニトール

保管・発送情報

保存方法 乾燥剤の存在下で -20° Cでの保管が推 \square されます。